

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

| | | | | |
|-------|-----------------------------------|-------------------------------|--|------------------------------|
| 確認年月日 | 令和 4 年 12 月 9 日(金) | 確認目的 | 希釈用海水の管理 (要求事項②関係) | |
| 確認箇所 | 5・6号機敷地護岸ヤード | | | |
| 確認設備 | <input type="checkbox"/> 測定・確認用設備 | <input type="checkbox"/> 移送設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備 | <input type="checkbox"/> その他 |

ALPS 処理水は、海水で 100 倍以上に希釈して放出するとしている。希釈用の海水を取水するための設備の設置工事の状況を確認した。

- ・ 5号機取水路では希釈用海水への異物混入を防ぐためのスクリーン設備や希釈用海水を取水するための海水移送ポンプが設置中であり、希釈用の海水への放射性物質混入防止のために5号機取水路に堆積した土砂等の撤去作業等が行われていた。(写真1)
- ・ 5・6号機敷地護岸ヤード東側の5・6号機取水路開渠では、環境改善を目的に堆砂の撤去(浚渫)作業が実施されていた。(写真2)



(写真1-1) 新設されたスクリーン設備

(写真1-2) 設置中の海水移送ポンプ



(写真1-3) 5号機取水路の状況
上部から撮影。堆砂が撤去されている。

(写真2) 5・6号機取水路開渠付近の状況

確認
結果

【東京電力からの聴取内容】

- ・ 5号機取水路で撤去した土砂は、汚染があったことから脱水後に指定された場所で保管している。5・6号機取水路開渠内の浚渫土砂とは、放射性物質の濃度が異なるため、別の場所で保管している。
- ・ ALPS 処理水希釈放出設備運用前までに 20,000 m³の浚渫を予定している。設備運用開始後も状況を見て浚渫を行う。なお、先日は 170 m³、累計で 2582 m³の堆砂を浚渫した。

今後、港湾内では1～4号機側と5・6号機側を仕切るための仕切堤が構築される。